

COVID-19 患者に対する在宅診療

1 P P Eについて

- ・標準のP P Eは、サージカルマスク（資材に余裕があればN 9 5マスク）、グローブ、ガウン、フェイスシールド、（キャップ）となります。患家の状況によっては、必要に応じてズボン・シューズカバーを使用します。N 9 5マスクが供給不足等で入手困難な場合には、保健所備蓄分を供給します。
- ・門から玄関までに脱着スペースがある場合には、この間で必要なP P Eを装着します。
- ・マンション等で脱着スペースがない場合には、最低限、グローブとN 9 5マスクを装着して玄関内へ入り、ここで他のP P Eを装着することとなります。
- ・消毒に使用するポンプ式の手指消毒剤（5 0 0ml 程度の大型の方が使いやすい）、清潔物品、不潔になったP P Eや医療材料及び使用後の医療器具を分別して収納するためのビニール袋等も持参が必要となります。
- ・状況によって、使用済みP P Eを患家にて処分する場合には、感染対策について必要な指導を行ってください。

2 病状の確認

- ・往診時には、患者との接触は必要最低限にして、以下の診察を行ってください。聴診、口腔内及び咽頭の診察は必須ではありませんので、必要に応じて実施して下さい。発熱及び呼吸器症状の有無、酸素飽和度、飲水状況等を確認して下さい。中等症Ⅱ以上に該当する場合には、速やかに保健所へ入院調整を依頼して下さい。ただし空床がなく速やかに入院が出来ない場合には、投薬や在宅酸素療法をお願いします。
- ・軽症、中等症Ⅰの患者についても入院できない場合には、必要な治療をお願いします。

1）軽症患者について

- ・発熱や咳嗽、下痢などの症状に応じて、対症療法を行って下さい。

2）中等症以上（低酸素血症、著しい咳嗽など）の患者について （投薬）

- ・発熱と酸素飽和度低下を認め肺炎が疑われる場合には、解熱剤としてカロナールは通常5 0 0－6 0 0mg／回を使用し、酸素投与の必要な患者に対しては、デキサメタゾン（デカドロン錠[®]）6mg 1日1回を7日分（1 0日まで延長可）内服処方してください。
- ・自己血糖測定器を所有している糖尿病患者については、デキサメタゾン開始後、毎日の自己血糖測定を指導するか、あるいは訪問看護による測定を指示してください。
- ・激しい咳嗽の場合は、対症療法として鎮咳薬（メジコン、レスブレン、リン酸コデインでも）を使用してください。

（酸素投与）

- ・ルームエアで、S p O₂が9 3％以下となる中等症Ⅱに該当する場合は、在宅酸素療法の適応となるため、即座に入院が出来ない場合には、酸素濃縮器の設置を医療酸素業者に依頼してください。
- ・医療酸素業者による療養場所への設置が不可能な場合には、往診または訪問看護の指示を行って設置してください。
- ・少なくとも1日4回程度はS p O₂を測定するよう指導してください。酸素吸入3 L／分でも9 3％以下の場合には、改めて入院調整（緊急度のU P）を依頼してください。

(補液)

- ・脱水に対しては、訪問看護による点滴の指示を行ってください。ただし、訪問看護の接触頻度を減らすため、必要最低限としてできるだけ経口摂取を心がけるよう指導してください。また家族による抜針ができない状況で500mlの補液を指示すると訪問看護師が長時間滞在しなければならないため、状態によりますが、できるだけ200mlの処方を考慮してください。

3 細菌性肺炎が否定できないとき

- ・ウイルス性肺炎と鑑別が困難な細菌感染症（誤嚥性肺炎など）を疑うとき（膿性痰がある場合など）は、患者背景を考慮して下記の①～③の抗菌薬等を選択してください。いずれも治療期間は5～7日間としてください。なお、予防的な抗菌薬等の投与は不要です。

<内服の場合>

- ①アモキシシリン・クラブラン酸（オーグメンチン配合錠 250RS®）1錠とアモキシシリン（サワシリンカプセル®）1回250mgを併用して1日3回（短期間なら腎機能にかかわらず使用可能）。

内服適応：末梢静脈路がない場合に選択する。

経管投与：オーグメンチン配合錠は投与直前に破砕して経管より投与可。

経管投与：サワシリンカプセルは脱カプセルして経管より投与可。

適応：末梢静脈路がない場合に選択する。

禁忌・注意：ペニシリンアレルギー

- ②レボフロキサシン（クラビット錠®）1回500mgを1日1回経口投与適応：上記1）がアレルギー等で使用できない場合に使用する。

禁忌・注意：QT延長、不整脈、内服中薬剤との相互作用

<点滴の場合>

- ③セフトリアキソン（ロセフィン®）1gを24時間おきに静脈注射。

適応：末梢静脈路がすでにある。または確保が容易な症例に使用する。

禁忌・注意：ペニシリンアレルギー、セフェム系抗菌薬アレルギー、胆管系疾患

4 院外処方箋の交付

- ・宅配（置き配）の可能な調剤薬局に処方箋をFAXしてください。
なお、処方箋の原本及び保険情報は月末にまとめて調剤薬局にお送りください。